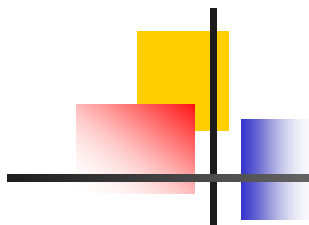


奥河内 観光写真コンクール 入賞作品が決定



このほど、河内長野市と同市観光協会、千早赤阪村と同村観光協会共催の「奥河内 観光写真コンクール」の入賞作品が決定した。

このコンクールは、河内長野市で50回を数える歴史ある催し。今年度からは、大阪南東部の山麓エリア『奥河内』をPRするため、市域を越えて開催されることになり、市内外から605点の応募があった。

審査の結果、グランプリ（河内長野市長賞）には、樋井昭二（ひのいしょうじ▽河内長野市野作町在住）さんが河内長野市の西代神社付近でだんじり祭りの様子を撮影した作品「雄姿」が選ばれた。また、準グランプリ（千早赤阪村長賞）には、戸田清志（とだきよし▽河内長野市南花台在住）さんが千早赤阪村の金剛山の風景を撮影した作品「神秘の金剛山」が選ばれた。そのほか、金賞、銀賞を含め、全24点の入賞作品が決定した。

グランプリ作品で撮影されただんじり祭りは、五穀豊穰並びに日々の無事息災を氏神様に感謝し、祝って喜びを分かち合う神事。河内長野では、古くから各地区で執り行われてきた行事で、最近では、各地区のだんじりが集合し、パレードを実施するなどして、多くの人が見物に訪れる人気の行事となっている。

樋井さんは、「グランプリ受賞は、非常にびっくりしています。受賞作品は、だんじりの『ぶんまわし（だんじりを傾け回転させること）』でできた木屑跡が、雄壮な感じがしたため、撮影しました。また、西代神社に宮入りしただんじりを全て撮影していたが、変わったアングルを求め、境内の塀の上から撮影したりと工夫しました」と受賞の喜びを話

していた。また、昨年度から審査員を務める大阪芸術大学の織作峰子写真学科長／教授は、「今回は千早赤阪村の作品が追加され、作品のバリエーションが増え審査に厚みが出たと思います。四季折々の素晴らしい自然美を足しげく通われ、撮影された作品たちは非常に美しく、次回はモノクロ作品にも期待したいと思います。美しい河内長野市と千早赤阪村の風景がこれから広く全国の皆様に知っていただけることを願い、審査講評とさせていただきます」とコメントしている。

なお、表彰式および入賞作品ほかの展示は、下記のとおり行われる。入場は無料。

【表彰式】

日程：2月3日（金）正午～

場所：河内長野市役所1階市民サロン

【展示】

①日程：2月3日（金）～15日（水）

場所：河内長野市役所1階市民サロン

時間：午前9時～午後5時30分（土曜日・日曜日は閉庁）

②日程：2月18日（土）～20日（月）

場所：ノバティながの南館3階ノバティホール

時間：午前9時～午後5時

③日程：2月22日（水）～3月4日（日）（月曜日は閉館）

場所：千早赤阪村立くすのきホールギャラリー

時間：午前9時～午後10時

④日程：3月16日（金）～22日（木）

場所：富士フイルム大阪本社（御堂筋）1階フォトサロン大阪

問い合わせ 河内長野市観光協会事務局（河内長野市役所商工観光課内）

☎0721-53-1111（内線477）



グランプリ作品「雄姿」



準グランプリ作品「神秘の金剛山」

※上の受賞作品の写真を希望される場合は、広報広聴課（☎0721-53-1111、内線 236・237）までご連絡ください。

